

あま市本庁舎基本設計市民ミーティング

あま市本庁舎基本設計
市民ミーティング
レポートブック

2016.12~2017.10



はじめに

あま市では、平成34年度の開庁を目標に新庁舎整備事業を進めております。

市の新しいシンボルとして新庁舎のイメージの共有や一体感の醸成、市民が利用しやすい市民活動スペースや広場整備、市民の利便性向上など、庁舎建設のみならず、まちづくりに至るまで、多方面にわたって理解を深めながら市民の皆様に親しまれる庁舎づくりを目指しております。

平成28年度から進めてきました基本設計において、市民の皆様にご参加いただきながら共に進める「市民参加型」の庁舎づくりを目指し、合計6回の「市民ミーティング」を開催してまいりました。

市民ミーティングは、大人から次世代のあま市を担っていく中高生まで、幅広い年齢層にて構成し、2か年にわたる基本設計のプロセスを共有するため、ワークショップ形式による進め方を採用しました。市民、設計者および行政が、それぞれの立場や価値観などの垣根を超えて一緒に話し合うことができるよう、専門のワークショップコーディネーターによる企画・進行をお願いしました。

また、市民ミーティングでは、参加者の皆様との意見交換の中で、新庁舎の施設整備に反映していくハード面だけでなく、新庁舎完成後も市民参加型であま市をより良くしていくためのソフト面に対する貴重なアイデアや提案も多くいただきました。

このレポートブックは、より多くの市民の皆様に市民ミーティングの内容を知っていただくため、プロセスと各段階で頂いたご意見等が、できる限り取捨選択せずにまとめられております。

市民ミーティングにご協力、ご参加いただいた市民の皆様にこの場をお借りして感謝を申し上げますとともに、市民ミーティングを通じて皆様からいただきましたご意見やアイデアなどを可能な限り取り入れ、より良い庁舎づくりを引き続き進めてまいります。

あま市

市民ミーティング概要

2016年12月から2017年10月にかけて、あま市本庁舎基本設計市民ミーティングを開催しました。庁舎は、その土地らしさを持ち合わせたまちの中心となるべき場所です。市民が愛着を持ち、日常的に利用したいと思えるようなにぎわいのある庁舎の実現のため、市民・設計者・職員が一緒になって「あま市らしさ」を考えるとところからスタートしました。市民ミーティングを通じて庁舎を考えることはまちを考えることであり、それぞれの活動へとリンクしていくことで、庁舎がまちづくりの中心的な拠点として利用されていくことを目指しました。

●市民ミーティング内容

あま市の特徴をみんなで出し合い、すごろくを作成します。完成したものを「あますごろく」と名付けました。そのすごろくからまちの特徴を俯瞰してみることで、あま市とは一体どんな土地なのかを捉えることができます。元々の3つの町の特徴を互いに理解し、そこから新しくできる庁舎にはどんな機能が必要か、どんな活動が必要かを考えます。

なぜすごろく？

- ・地域の特性を、地理的に分かりやすく表現するため
- ・自分の住むまちを俯瞰してみるきっかけづくり
- ・ひとりひとりの物事の捉え方の違いを知るため

3町が合併して、あま市になった現在、中高生や大人それぞれの暮らし、それぞれの地域においてどのような特徴や課題があるのか、それを共有した上で必要なことを考えるのが新しい庁舎づくりの第一歩です。

庁舎ができたらこういうことがしたい、こういうものがあったら嬉しい、という具体的なイメージを先に出し、そこからそのために必要な機能や設備を考えます。庁舎を利用したことのない中高生にとっても、自分の普段の生活の視点で使いたくなる庁舎を考えることは、意見を出しやすくイメージしやすいものになるというねらいの下、どこの庁舎よりも、完成を待ち望まれ、行くのが楽しみになる庁舎になることを目指して、企画しました。

目次

02	市民ミーティング概要	17	第5回レポート (2017年6月11日)
03	第1回レポート (2016年12月4日)	19	第5回まとめ資料
05	第2回レポート (2016年12月17日)	21	第6回レポート (2017年10月1日)
07	第3回レポート (2017年1月22日)	23	あま市庁舎に必要な10のテーマ
09	提案ダイアグラム	27	アンケート結果
11	あますごろく	29	おわりに
13	第4回レポート (2017年2月4日)		
15	第4回まとめ資料		



「あますごろくで庁舎を考える」

まちの特徴を知る

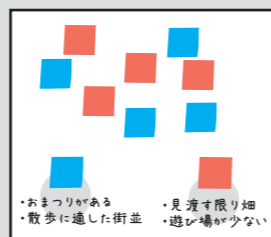
日時 | 2016年 12月 4日 (日)
中学生 10:00 ~ 12:00 / 大人 14:00 ~ 16:00
参加人数 | 中学生 29名 (中学生22名・高校生7名) 大人14名
*参加者の出身地域ごとにグループを分けてミーティングを行いました。

設計者にとって、市民の目線から見たまちの特徴は、あま市の「顔」となる庁舎を建てるために非常に重要な情報であるといえます。あま市の「残るとよいこと」「変わるとよいこと」を思いつく限り出して、暮らす人それぞれの視点からまちの魅力、特徴を知り、「あま市らしさ」とは一体どんなものなのかを一緒に考えていきます。

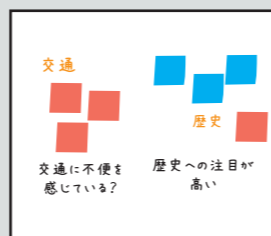
ミーティング内容 *大人は14時から同じ内容で実施

- 10:00 あいさつ・スタッフ自己紹介
- 10:10 ワークショップ概要説明
- 10:20 新庁舎建設の概要説明
にぎわい施設の取組み紹介
- 10:50 休憩
- 10:55 まちの「残るとよいこと・変わるとよいこと」を書き出す
- 11:20 分析する
- 11:30 発表
- 11:50 まとめ
- 12:00 終了

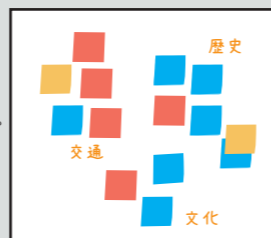
まちの「残るとよいこと」「変わるとよいこと」を付箋に書き出し、模造紙に貼っていく。その付箋に目を通し、分類ごとにまとめていく。



付箋に書かれている内容から、自分達の住む地域がどんな特徴をもっているのかを分析する。



各グループから出てきたまちの特徴を発表する。

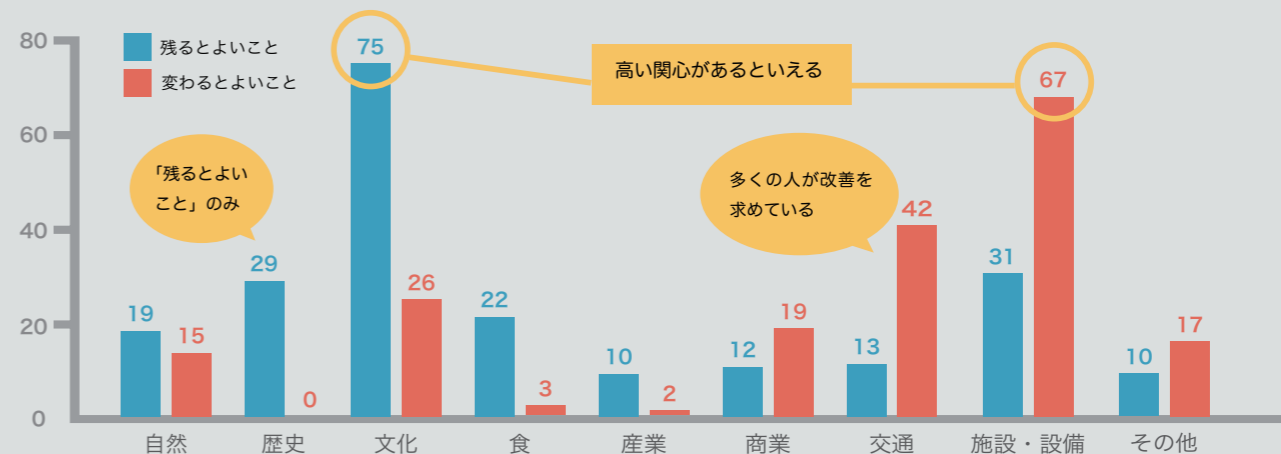


ミーティング結果

あま市の『残るとよいこと』『変わるとよいこと』

中学生	残る	136個	変わる	116個	計	412個
大人	残る	85個	変わる	75個		

*自然、歴史、文化、食、産業、商業、交通、施設・設備、その他の9つの項目で付箋の内容を分類



【七宝グループ】

「自然」についての意見が多くみられた。「施設・設備」についての関心が高い。

中学生
大人

- 七宝焼、七宝みそ、アートヴィレッジ、おこわ祭り、空気がきれい、おまつり、おこわ祭りが多くみられた。
- 勉強場所がない、映画館が欲しい、道路が暗い、昔はそれぞれの町で花火があった
- まつり、お年寄りが元気、名古屋から近い、巡回バス、緑が多い、図書館と文化の杜
- 大きな中心的子育て施設がない、使いにくい箱物、旧3町がまとまっていない

【美和グループ】

暮らしやすさについての意見が多くみられた。「施設・設備」の改善を求める意見がみられた。

中学生
大人

- 地域一丸となって行うイベントがある、自然が豊か、八剣神社のいちょう、地域の仲がよい
- 空き家が多い、歴史民俗資料館の影が薄い、道路が危ない、美和=コレといったものがない
- おまつりの方の生家、名古屋から近い、職員の気持ちがあつたくなる庁舎
- 交通の便が悪い、図書館がない、庁舎の建設予定地が駅から遠い

【甚目寺グループ】

「歴史」についての意見が多くみられた。「文化」についての関心が高い。

中学生
大人

- 甚目寺観音、漆部神社、福島正則、小笠原登、方領大根、刷毛、湯たんぼ
- 甚目寺商店街、公園が欲しい、道路が狭い、夜が暗い、交通事故発生率愛知県ワースト1
- 萱津神社、菊泉院、蜂須賀小六、湯の花神事、あまえん坊、手筒花火、市民活動センター
- 図書館の利用方法、飲み屋、巡回バスの時刻、食文化、アートヴィレッジが活用されていない

当日の様子



まとめ

「すごろくを作る」という、一見新庁舎建設のミーティングとは関係の無いように思われる内容からスタートしました。まちの特徴を上げることが庁舎とどう繋がるのか?と疑問に思われた方も多かったようですが、中学生、大人合わせて412枚もの付箋が集まり、まちの良い部分、改善すべき部分をちゃんと理解していること、七宝、美和、甚目寺のそれぞれのまちの特徴が明確に分かる結果となりました。

あま市とは一体どんなまちなのか、設計者はもちろん、そこに住む人達にとっても互いに共有できた時間となったようです。





「あますごろくで庁舎を考える」

まちの特徴から 庁舎を考える

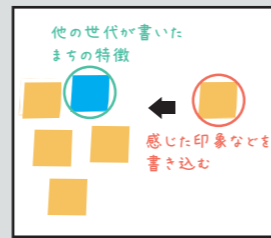
日時 | 2016年 12月 17日 (土)
中学生 10:00 ~ 12:00 / 大人 14:00 ~ 16:00
参加人数 | 中学生 28名 (中学生21名・高校生7名) 大人12名
*参加者の出身地域ごとにグループを分けてミーティングを行いました。

中学生が思うあま市らしさ、大人が思うあま市らしさを交換して、分析・整理します。まちの特徴を「庁舎機能・市民利用機能・ひろばとその周辺・まちづくり」の4つのテーマに分けてディスカッションを行います。中学生と大人の意見を共有し、本当にまちに必要なもの、庁舎にあるとよいものを見出していきます。

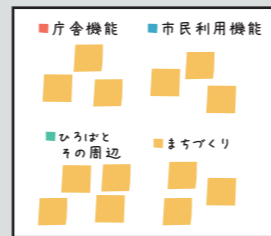
ミーティング内容 *大人は14時から赤字の内容で実施

- 10:00 あいさつ
- |
- 10:05 前回の振り返り
- |
- 10:15 **他の世代が思うあま市らしさを分析する**
- |
- 10:40 **あま市らしさを分類する**
- |
- 10:55 休憩
- |
- 11:00 庁舎とは？
- |
- 11:25 **発表**
- |
- 11:45 まとめ
- |
- 12:00 終了

● 他の世代がピックアップしたまちの特徴をみて、感じた事などを付箋に書き込んで、模造紙に貼っていく。



● 集まった付箋をテーマごとに分類、まとめる。



● 職員に、庁舎はどんな所なのか、どういう場所になったらいいのか等のインタビューを行う。



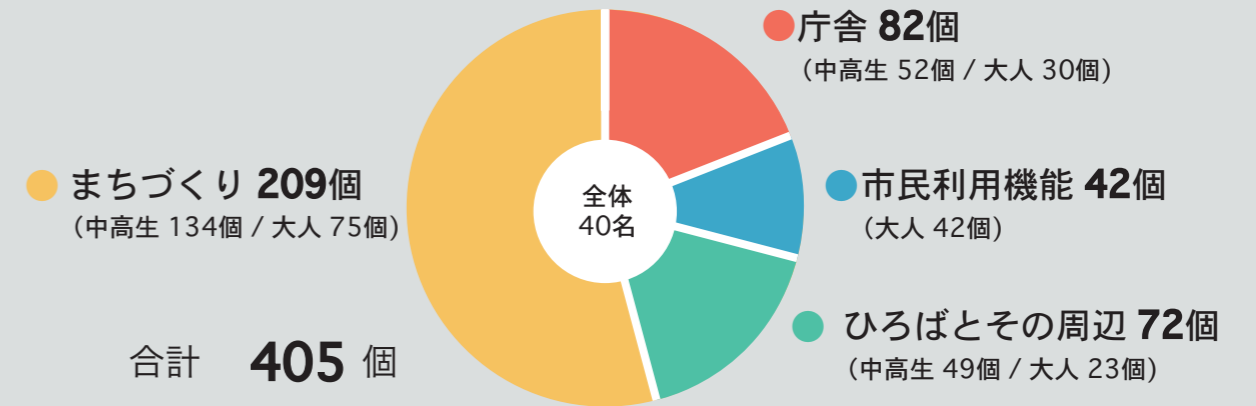
▲中学生から職員へインタビュー

当日の様子



ミーティング結果

「庁舎・市民利用機能・ひろばとその周辺・まちづくり」の4つのテーマごとに出た意見



【七宝グループ】

- 中学生** 新しい庁舎に欲しい機能についての提案が多く見られた。
- 大人** 建物の具体的な形、窓口機能と市民利用機能の連携など、市民が手続きしやすい庁舎について考えられていた。
- 庁舎のどこかに七宝焼を取り入れる
- 季節の花を広場に植える ● 市民グラウンドで遊んでいるから公園はいらない
- 合併後、廃止した施設はどうなる？
- スペースを貸すシステムをしっかりとつくる
- 子育て世代には芝生が欲しい ● 現在ある公園の充実、コミュニティバスの整備

【美和グループ】

- 中学生** 建物の機能だけでなく、人ができる事に注目するなど、まちづくりのヒントになる提案が多く出た。
- 大人** 建物の立地や機能など現実的な面からの意見が多く出た。
- 全体的に明るい色を用いる、市の職員の自己紹介カードがあったらいい
- 幼児と小学生の公園(広場)を区別し、安全にする！
- 施設を作るより、道を歩いたり車で走った時に楽しめるものを作った方がいい
- ガラス張りは暑い、ゲリラ豪雨や液状化対策
- 講座などを行う多目的ホール ● 庁舎周辺の事故対策
- 瀬戸焼の市場のような事が七宝焼でできれば、もっと普及するのでは？

【甚目寺グループ】

- 中学生** 庁舎や広場の四季ごとの使い方、まちと連携してできる事などの提案が出た。
- 大人** 庁舎をまちを良くするためのハブとして使う提案、まちのための場所にしたいという意見が見られた。
- 四季折々の使い方 ● 平日や休日のマルシェ
- あま市全体のパンフレット、あま市のスタンプラリー
- 広報部門の部署の設置
- カフェと市民活動センターをオープン、市民活動センターを前面に
- 春夏秋冬の樹木 花見 ● 新庁舎を作った場合の意識改革

まとめ

この回の前半でそれぞれの世代の「残るとよいこと・変わるとよいこと」に目を通しました。「大人と中学生では注目している所が違って面白かった」「大人と中学生の視点の違いをちゃんと考えて、庁舎が大人と子ども両方が必要とする場所になればいいと思う」というような感想もみられました。

後半は、ここまでに出たまちの特徴を元に庁舎機能について考えたり、実際に働いている職員へ「新しい庁舎はどんな場所になったらいいか？」と質問するなど、まちから庁舎へ少しづつ意識をフォーカスする回となりました。

まちから庁舎を考えるというテーマを多くの人が理解して取り組んでいるように感じました。



「あますごろくで庁舎を考える」

配置案に提案をのせて考える

日時 | 2017年 1月 22日 (日) 14:00 ~ 16:00
参加人数 | 中学生 19名 (中学生 12名・高校生 7名) 大人 11名
*中学生大人合同、出身地域ごとのグループでミーティングを行いました。

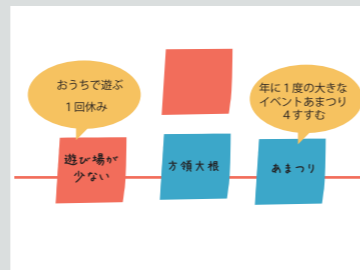
交換されたまちの特徴を他の世代はどう感じているのか、お披露目と意見交換を、中学生と大人のメンバー合同で行う場になります。お互いのイメージを共有するため、初めに第1回、第2回で集まったキーワードから「あますごろく」のマスをみんなで考えていきます。

そして、基本設計の進捗報告として配置案などが提示されます。これまでに提案をのせていき、そこから見えてくるもの、新しい提案について話し合っていきます。

ミーティング内容

- 14:00 あいさつ・本日のスケジュール
- 14:05 **すごろくのマスをつくる**
- 14:30 前回の振り返り
- 14:35 設計の進捗報告
- 14:55 休憩
- 15:00 **配置案に提案をのせる**
- 15:35 **発表**
- 15:55 まとめ
- 16:00 終了

● 第1回で出した「残る/変わるとよいこと」のリストから、まちの特徴としてすごろくに並べたいものを選ぶ。イベントマスを決める。



● 第2回で出たまちづくりの意見(黄色の付箋)が庁舎のどこに当てはまりそうかを考え、その後新しく思いついた提案を書き出す。(緑の付箋)



● どんな提案が出たのか、発表する。



当日の様子



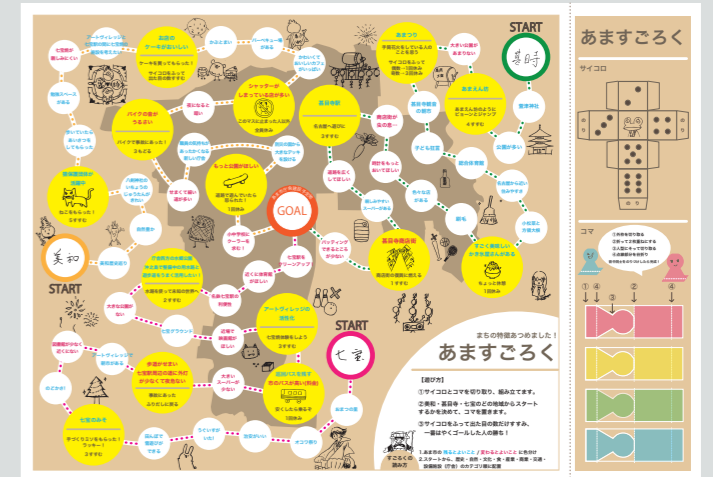
ミーティング結果

すごろくのマスをつくる

第1回の付箋 **412** 個

↓
各地域20個ずつに絞り **60** 個

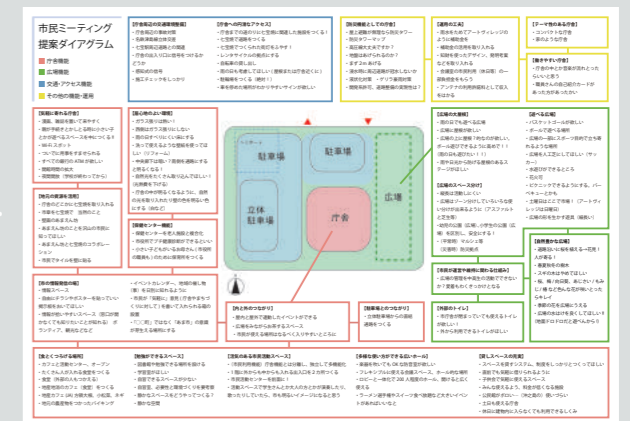
スタートの旧町名はそれぞれの地域の大人の方に、イラストは中高生のみなさんに描いていただきました。



配置案に提案をのせる



- 庁舎 65個
 - 広場 30個
 - 交通・アクセス 14個
 - 機能・運用 18個
- 第2回(黄色) **67** 個
新しい提案(緑色) **60** 個
合計 **127** 個



市民ミーティング提案ダイアグラム▶

まとめ

この回から合同のミーティングとなり、やはり最初はみなさん緊張していたようでした。冒頭でアイスブレイクとしてすごろくのマスづくりを行ったところ、和気あいあいと話し合いを行えたように感じました。特にイベントマスは、「このマスに止まった人以外全員休み」など、思わず笑ってしまうような設定がっていました。

このあますごろくは3つの地域からスタートして、新庁舎建設予定地がゴールとなっています。あま市となつてから6年が経つ中で、元々の地域の特徴を知っておく良いきっかけとなつたのではないのでしょうか。

今回の成果物としてまとめたダイアグラムは、非常に読み応えのあるボリュームになりました。広場で遊びたい子ども達の真剣な提案、実際に建築やまちづくりに携わった経験のある方々の現実的な提案、現状のまちの様子から市民利用機能を充実させて使いやすい庁舎にするための提案など、様々な立場の人が真剣に考えた提案が集まりました。



市民ミーティング 提案ダイアグラム

- 庁舎機能
- 広場機能
- 交通・アクセス機能
- その他の機能・運用

【庁舎周辺の交通環境整備】

- ・庁舎周辺の事故対策
- ・名鉄津島線立体交差
- ・七宝駅周辺道路との関連
- ・庁舎の出入り口に信号をつけるかどうか
- ・感知式の信号
- ・施工チェックをしっかりと

【庁舎への円滑なアクセス】

- ・庁舎までの道のりに七宝焼に関連した施設をつくる！
- ・七宝焼で道路をつくる
- ・七宝焼でつくられた街灯をふやす！
- ・レンタサイクルの拠点にする
- ・自転車の貸し出し
- ・雨の日も考慮してほしい（屋根または庁舎近くに）
- ・駐輪場をつくる（絶対！）
- ・車を停めた場所がわかりやすいサインが欲しい

【防災機能としての庁舎】

- ・屋上避難が無理なら防災タワー
- ・防災タワーマップ
- ・高圧線大丈夫ですか？
- ・地盤はあげられるのか？
- ・まず2m あげる
- ・浸水時に周辺道路が冠水しないか
- ・液状化対策 ・ゲリラ豪雨対策
- ・開発系許可、道路整備の実現性は？

【運用の工夫】

- ・雨水をためてアートヴィレッジのように補助金を
- ・補助金の活用を取り入れる
- ・知財を使ったデザイン、発明考案などを取り入れる
- ・会議室の市民利用（休日等）の一部負担金をもらう
- ・アンテナの利用許諾料として収入をはかる

【テーマ性のある庁舎】

- ・コンパクトな庁舎
- ・家のような庁舎

【働きやすい庁舎】

- ・庁舎の中とか音楽が流れとったらいと思う
- ・職員さんの自己紹介カードがあった方があったかい

【気軽に寄れる庁舎】

- ・漫画、雑誌を置いて来やすく
- ・親が手続きとかしとる時に小さい子とかが遊べるスペースを中につくる！！
- ・Wi-Fi スポット
- ・ついでに用事をすませられる
- ・すべての銀行のATM が欲しい
- ・開館時間の拡大
- ・夜間開放（学校が終わってから）

【居心地のよい環境】

- ・ガラス張りは暑い！
- ・西側はガラス張りにしない
- ・雨の日すべりにくい床にする
- ・洗って使えるような壁紙を使ってほしい（リフォーム）
- ・中央廊下は暗い？南側を通路にするとも明るくなる！
- ・自然光をたくさん取り込んでほしい！（光熱費を下げる）
- ・庁舎の中が明るくなるように、自然の光を取り入れたり壁の色を明るい色にする（白など）

【保健センター機能】

- ・保健センターを老人施設と複合化
- ・市役所でプチ健康診断ができるといい
- ・小さい子どもがいるお母さん（市役所の職員も）のために保育所をつくる

【地元の資源を活用】

- ・庁舎のどこかに七宝焼を取り入れる
- ・市章を七宝焼で 当然のこと
- ・壁画のあまえん坊
- ・あまえん坊のことを沢山の市民に知ってほしい
- ・あまえん坊と七宝焼のコラボレーション
- ・市民でタイルを壁に貼る

【市の情報発信の場】

- ・情報スペース
- ・自由にチラシやポスターを貼っていい掲示板をおいてほしい
- ・情報が拾いやすいスペース（窓口が開かなくても知りたいことが知れる）ポランテア、観光などなど

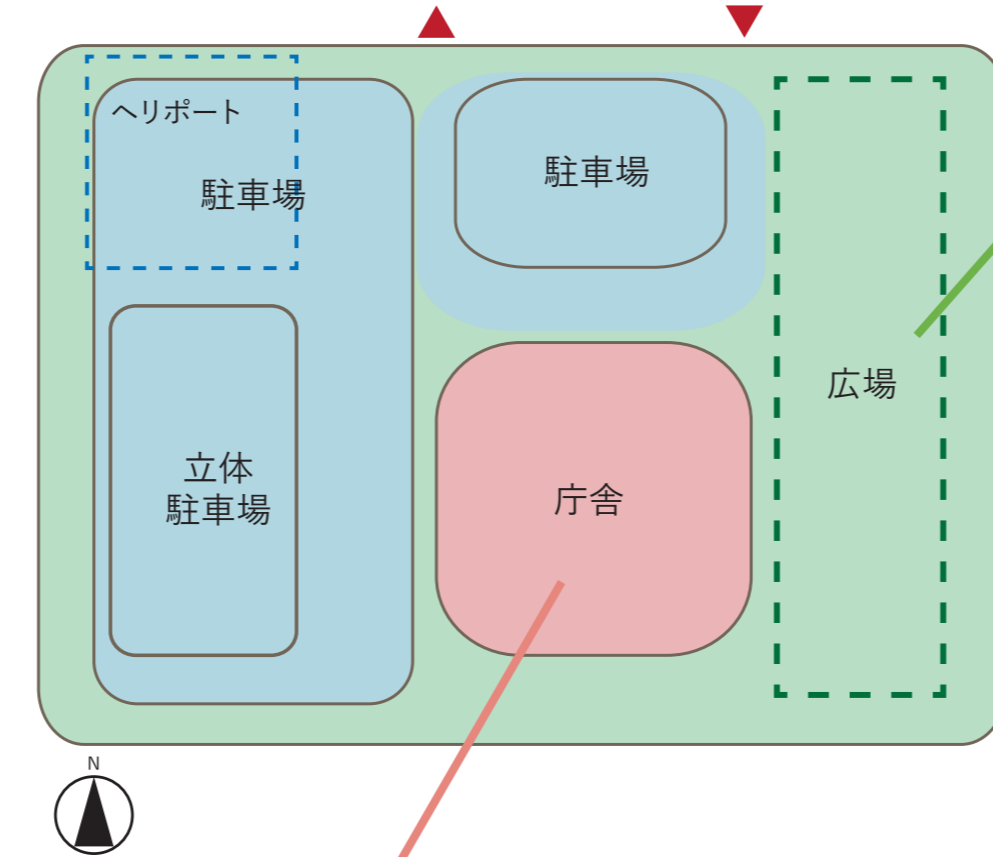
- ・イベントカレンダー、地域の催し物（事）を日別に知れるように
- ・市民が「気軽に」意見（庁舎やまちづくりに対して）を書いて入れられる箱の設置
- ・「〇〇町」ではなく「あま市」の意識が芽生える場所にする

【食とくつろげる場所】

- ・カフェと活動センター、オープン
- ・たくさん人が入れる食堂をつくる
- ・食堂（外部の人もつかえる）
- ・地産地消のカフェ（食堂）をつくる
- ・地産カフェ（JA）方領大根、小松菜、ネギ
- ・地元の農産物をつかったバイキング

【勉強ができるスペース】

- ・図書館や勉強できる場所を設ける
- ・学習室がほしい
- ・自習できるスペースが少ない
- ・自習室、必要性和環境づくりを要考察
- ・静かなスペースをどうやってつくる？
- ・静かな空間



【内と外のつながり】

- ・屋内と屋外で連動したイベントができる
- ・広場をみながらお茶するスペース
- ・市民が使える場所はなるべく入りやすいところに

【駐車場とのつながり】

- ・立体駐車場からの直結通路をつくる

【広場の大きな屋根】

- ・雨の日でも遊べる広場
- ・広場に屋根が欲しい
- ・広場の上に屋根？的なのが欲しい。ボール遊びできるように高めで！！（雨の日も遊びたい！！）
- ・雨や日光から防げる屋根のあるステージがほしい

【広場のスペース分け】

- ・縦長は活動しにくい
- ・広場はゾーン分けしていろいろな使い分けができるように（アスファルトと芝生等）
- ・幼児の公園（広場）、小学生の公園（広場）を区別し、安全にする！
- ・（平常時）マルシェ等（災害時）防災拠点

【市民が運営や維持に関わる仕組み】

- ・広場の管理を中高生の活動でできないか？愛着もわくきっかけとなる

【外部のトイレ】

- ・市庁舎が閉まっても使えるトイレが欲しい！
- ・外から利用できるトイレがほしい

【遊べる広場】

- ・バスケットゴールが欲しい
- ・ボールで遊べる場所
- ・広場の一部にスポーツ目的で立ち寄れるような場所
- ・広場を人工芝にしてほしい（サッカー）
- ・水遊びができる場所
- ・花火可
- ・ピクニックできるようにする。バーベキューとかも
- ・土曜日はここで市場！（アートヴィレッジは日曜日）
- ・広場の形を生かす遊具（細長い）

【自然豊かな広場】

- ・道路沿いに桜を植える→花見！人が寄る！
- ・春夏秋冬の樹木
- ・スギの木はやめてほしい
- ・桜、梅/向日葵、あじさい/もみじ/椿など色んな花が咲いたらキレイ
- ・季節の花を広場にうえる
- ・広場の水はけを良くしてほしい！！（地面ドロドロだと遊べんから！）



「あますごろくで庁舎を考える」

配置イメージから 庁舎を考える

日時 | 2017年 2月 4日(土) 14:00~16:00
 参加人数 | 中学生 24名(中学生 17名・高校生 7名) 大人 11名
 *中学生大人合同、出身地域ごとのグループでミーティングを行いました。

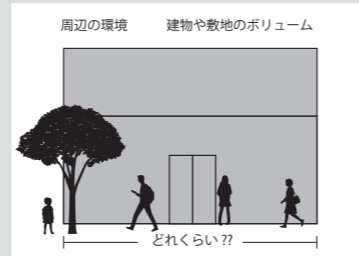
作成したあますごろくやダイアグラム等の意見を参考に作ったモデルを元に、庁舎について考えていきます。今までは配置図など平面の情報から意見を出して来ましたが、モデルを使って建物の大きさ、敷地の広さなどを意識しながら、これまでの意見を振り返ります。その後、設計者と話し合い、より具体的なイメージにしていきます。

ミーティング内容

- 14:00 あいさつ・本日のスケジュール
- |
- 14:05 これまでの振り返り
- |
- 14:15 あますごろく・ダイアグラムについて
- |
- 14:30 設計の報告
- |
- 14:40 休憩
- |
- 14:45 **模型で考える**
- |
- 15:20 **発表**
- |
- 15:50 まとめ
- |
- 16:00 終了

● 模型をみながら、新庁舎の俯瞰図に気付きを書き込んでいく。
 これまでの提案が生かせるのか、または、どうしたら生かせるのかを設計者と一緒に検討を行う。

● 新しく出た提案をまとめ、発表する。



ミーティング結果

● 第四回ワーク「模型で考える」まとめ ● 庁舎の配置や機能について、模型でイメージをふくらませながら考えることになりました。

● 駐車場
 中庭や周辺の道路に併せて、車庫の確保や、歩行者の安全確保を考慮する。また、自転車置き場や、バイク置き場の確保も検討する。

● 芝生
 中庭や周辺の道路に併せて、緑化の確保や、歩行者の安全確保を考慮する。また、自転車置き場や、バイク置き場の確保も検討する。

● 庁舎
 中庭や周辺の道路に併せて、緑化の確保や、歩行者の安全確保を考慮する。また、自転車置き場や、バイク置き場の確保も検討する。

● 機能/運用
 中庭や周辺の道路に併せて、緑化の確保や、歩行者の安全確保を考慮する。また、自転車置き場や、バイク置き場の確保も検討する。

● 芝生
 中庭や周辺の道路に併せて、緑化の確保や、歩行者の安全確保を考慮する。また、自転車置き場や、バイク置き場の確保も検討する。

● 庁舎
 中庭や周辺の道路に併せて、緑化の確保や、歩行者の安全確保を考慮する。また、自転車置き場や、バイク置き場の確保も検討する。

● 模型
 中庭や周辺の道路に併せて、緑化の確保や、歩行者の安全確保を考慮する。また、自転車置き場や、バイク置き場の確保も検討する。

- 模型で考える
- 庁舎 35個
 - 芝生 38個
 - 舗装 20個
 - 駐車場 20個
 - 機能運用 9個
- 第4回の付箋 → 122個



◀ 「模型で考える」のまとめ資料

- …庁舎の屋上も駐車場にする、地産地消のカフェ、喫煙スペースは？、ポスト(意見箱)の設置
- …ゆっくり休めるスペース、芝生がよい、水遊びがしたい、ビオトープや花壇を設置する
- …屋外に机とベンチでくつろげる空間を！、車椅子・ベビーカーの人に使いやすい敷地、ランニングコース
- …駐車場から庁舎まで屋根のある道があるとよい、庁舎を近づけた方が使い勝手も施工費も有利では？
- …時計台などの建物をつくる、市役所目的以外の人をどう集めるか、(ポールなどの)レンタル用具

まとめ

回を重ねるごとに、中高生の参加者は物事の良い面だけではなく、改善すべき面も同じように考えて発言するようになっていったこと、大人の参加者は目新しい意見に興味を持つようになっていったことなど、世代の違うグループが交わる事の影響を直に感じました。

市民ミーティング終了後に中学生の参加者から「設計って面白いですね」という言葉をもらいました。様々なプランを実現するために、現実の色々な条件も一緒に考えなければいけないということに今回気付いたそうです。

まず最初に、まちの事を広く集めることからスタートしましたが、暮らす人にとって本当に利用しやすい条件とは何なのか、まだまだ話し合う余地がたくさんあり、話し合えば話し合う程、意見がぎゅっと詰まっていくように感じます。次回もどんな意見が飛び交うのか、非常に楽しみです。

当日の様子



● 第4回ワーク「模型で考える」まとめ ●

庁舎の配置や機能について、模型でイメージをふくらませながら考える回となりました。

● 駐車場

- ・駐車場の入り口出口のマーク
- ・車の入り口大きく!
- ・庁舎の入り口まで案内するように地面に矢印などを記す
- ・立体駐車場の壁を絵にする!七宝焼などでカラフルにする!
- ・立体駐車場にグリーンカーテン ・屋上からの通路
- ・駐車場をもう一層!! (広場が広がる)
- ・駐車場から庁舎まで屋根のある道があるといい
- ・普段は広場で、イベントがある時は駐車場にしたら?
- ・車が少ない日、または休みの日(車が無いとき)バスケがしたい!
- ・駐輪場しっかり
- ・駐輪場は1つじゃなくて3つぐらい欲しい
- ・庁舎に近づけた方が使い勝手も施工費も有利では?
- ・メインのエントランスとして緑があっても良い
- ・高木がなくてもよいのでは?
- ・駐車場は、広場に行く人と市役所に行く人によってエリアを分けるのか?
- ・立体駐車場から庁舎へ行く時に駐車場を通るが、信号や横断歩道などをつくるのか?
- ・駐車場の位置を分かりやすく明示、ポール等で…
- ・駐輪場をあまり入り口に寄せすぎると、人の動線とぶつかる
- ・子どもの飛び出し危険!ボールが転がるとか!!

● 庁舎

- ・庁舎の上も駐車場にしたら良いと思う
- ・屋上にフェンスなどを設置して、ベンチなどを置いて、くつろげるスペースに!
- ・屋上でカフェ
- ・野外から屋上への大きめのエレベーター
- ・エレベーターは火災などの非常用のも
- ・携帯のアンテナや太陽光発電
- ・庁舎とか立体駐車場とかを親しみやすい色にする(カラフルに明るくする)
- ・庁舎のガラス窓から広場が見えるとイベントが屋内で楽しめる
- ・町の掲示板を外と中に両方作る ・パネルをつくる
- ・内と外がみえるのがいい
- ・テラス席、お年寄りにはテーブルベンチがほしい
- ・1階でフードコートも窓に面していた方がいい!(春は桜が見える!)
- ・バルコニーを作ってカフェを開業!
- ・庁舎内で地産地消(屋上庭園…?)
- ・広場をみなからお茶をするスペース
- ・たくさん人が入れる食堂をつくる
- ・フードコートにたくさんの種類の料理(和食、イタリアン、中華、カレーも!!)
- ・地元の農産物をつかったバイキング ・小松菜のどらやき
- ・地産地消のカフェ(食堂) ・地域の特産物、グッズの販売

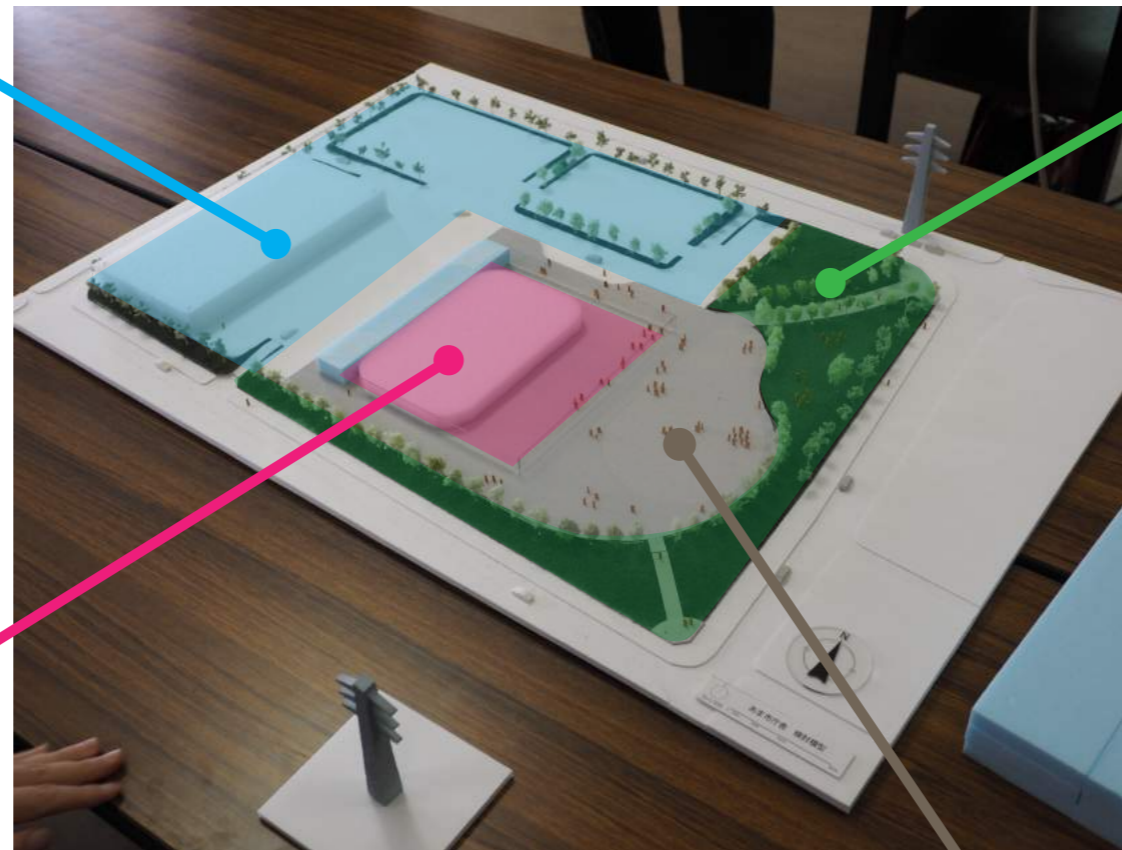
● 機能 / 運用

- ・市民開放時の運用、セキュリティとか
- ・市役所目的以外の人をどう集めるか
- ・市役所が休みの時に自由に使える広場
- ・時計台などの建物をつくる
- ・庁舎とかをつくるための募金を学校とかでもらって、すていなのをつくる(募金したお金が何に使われるのかをちゃんと表す)
- ・別の場所にサッカーコートほしい!!
- ・あまつりみたいな小さなイベント
- ・祭り行う?中高生が来店(ボランティア)
- ・レンタル用具がほしい ・校外美化

● 芝生

- ・もしボール遊びをするなら、飛び出し防止策が必要
- ・柵はいらないのか?
- ・ボール遊びが危険そう
- ・ボール遊びは物を壊したり、この広場の位置だとボールが道路に行く恐れアリ
- ・ボールが出ないように金網
- ・特定日だけ花火OK!
- ・庁舎をたてに大きく(バランスよく)して広場を広くして!
- ・せまくない?使いにくい形!
- ・誰が葉っぱを掃除するのだろう?車の窓に葉っぱが来たら前が…(掃除をするのは中高生ではない!)

- ・遊具をつくる(ブランコ、アスレチック、観覧車)
- ・芝生をひいたらピクニックができる!!
- ・斜めの土地を利用してそりみたいな遊びができたらいいと思う
- ・小さな子の遊具
- ・ドッグラン
- ・ペットスペース
- ・芝生の方が良い
- ・子どもが遊べる遊具がどこかに欲しい
- ・広場がせまく感じる!せまくならもっと広くしたほうがいい
- ・ボール遊びをしたい!→人工芝、何でもOK!
- ・ベンチ
- ・外にトイレをください
- ・水遊びしたい!(水飲み場)
- ・桜祭りになくなってしまったから、手軽に花見が出来るところがほしい
- ・花見スペース
- ・道路に面して桜。春に目立って人寄せ効果!
- ・桜を植えてお酒を飲もう!
- ・ピオトープの設置(自然とふれあうイベントを行う)
- ・花壇
- ・ボール遊びスペースと幼児スペースなど、分けるのか?
- ・大人が子どもをいつも見ていられるのか(木の多さ、防犯、安全の面から)
- ・ゆっくり休めるスペース
- ・トイレ3つぐらい
- ・広場に自販機
- ・災害時のトイレ
- ・花火の時の木への火の燃え移り
- ・フェンスやネットはあるのか?
- ・倉庫(ポール、ネットなど。テニスなどの)
- ・消火器、水道の設置
- ・ケガの保障は?



● 舗装

- ・大きな屋根はどこいった?(雨の日は遊べないの?)
- ・ウォーキングやランニングが出来る広場(年齢関係なく使える広場)
- ・アスファルトなどにあまえんぼうなどのイラストとともに、入り口から何キロなど分かるようにする
- ・自転車やローラースケート、スケートボードが使用出来る場所を決める?
- ・乗り物(自転車、ローラースケート、一輪車、スケートボード)の貸し出し
- ・ステージ
- ・3 on 3のコート

- ・広場のはじはウェーブじゃない方が使いやすいのでは
- ・芝生はメンテナンスが大変…全天候型の舗装としては?初期費用をがんばる!
- ・ソフトな舗装。子どもが転んでも大丈夫なように。部分的にでも。
- ・雨の日でも使えるように舗装されている方が良い
- ・(舗装コーナーに)桜があってもよいかも
- ・サッカー60m×90m
- ・サッカーゴールがほしい!
- ・バスケがやれる場所がほしい
- ・車イス、ベビーカーの人に使いやすいフラットな敷地に!
- ・屋外に机とベンチ、くつろげる空間を!
- ・マラソン大会が出来る庁舎(木の周り)
- ・ランニングコースがあるといい
- ・この構造だったら木に沿って、ブラスバンド部の子がマーチング出来るかも?



「あまずごろくで庁舎を考える」

新庁舎での市民協働を考える

日時 | 2017年 6月 11日(日) 14:00 ~ 16:00
参加人数 | 中学生 22名(中学生 15名・高校生 7名) 大人 7名
* 中高生大人共同でミーティングを行いました。

これからの時代に求められる「市民参画・市民協働」をテーマに、ソフト面について考え、アイデアを具体的にしていきます。市民の力でまちを良くしていきたり、助け合ったりという視点と、そのような活動の拠点となる、市民活動センター、広場などのより詳細な平面計画と、そこでできることを照らし合わせながら、新庁舎に必要なものや、ソフト面での可能性を話し合います。

ミーティング内容

- 14:00 あいさつ・本日のスケジュール
- |
- 14:05 進捗報告(庁舎/ランドスケープ)
- |
- 14:25 市民活動センターについて
- |
- 14:45 休憩
- |
- 14:50 新しい庁舎をどう使いたい?
- |
- 15:30 発表
- |
- 15:55 まとめ
- |
- 16:00 終了

● 市民活動センターの機能や役割、活動内容とともに、現状のセンターの使われ方、改善したい点などをセンターのスタッフから話を聞く。

● 新庁舎にできる新しいスペースを多くの人に利用してもらうために必要なしくみについて、詳細な平面図をみながら考える。

● 活用の仕方、欲しい機能についてまとめ、発表する。



ミーティング結果

● 第5回市民ミーティング「新庁舎での市民協働を考える」まとめ ● 4回まで行った意見交換を整理し、市民協働センターの機能や役割を再考し、取り巻く環境について話し合いました。

● ハード(建物・配置・設備) …63個
● ソフト(活用方法・企画) …48個

■ 庁舎について …64個
■ 広場について …44個
■ 全体 …3個
計 111個



◀ 第5回のまとめ資料

● ハード(建物・配置・設備) …63個

- ・正面の壁に七宝焼の破片などを埋め込む ・非常時の避難場所(埋め込み型のトイレ設置)
- ・幼児が遊べるキッズスペース ・多目的ルームをたくさん作っておく ・勉強ができる場所や図書館など
- ・市内で行われるイベント等が一目で分かる掲示板を設置する ・駐輪場が2つくらい欲しい
- ・駐車場から庁舎までに屋根を作ったら雨の日でも濡れない ・壁面を使って名画上映(ドライブインシアター)
- ・冬に市役所の壁にプロジェクションマッピングをする ・床はゴム製にしてボール遊びができるようにする
- ・出入口が限定されているので色んな所から入れるようにする ・桜のライトアップ ・ピオトープの設置

● ソフト(活用方法・企画) …48個

- ・シャッターに市民がイラストを描く ・あまコンシェルジュ ・企画をまとめる企画課を市民で作る、設置する
- ・カフェは地域の人に人気の地域のカフェの店員さん達がメニューを作ったり運営する
- ・勉強を教えてくれる庁舎(教育大学のお兄さんお姉さんに教えてほしい)
- ・庁舎の中で謎解きを設置する→中に人が入るきっかけをつくる
- ・駐車場をあま市に見立ててエリアに名前をつける ・地域全域で花火禁止なので期間限定でも花火をやらせてほしい
- ・フリーマーケットを行う ・イルミネーション ・子どもの遊び場は必須!!
- ・落ち葉掃除のボランティアをしたらカフェで割引券とかポイントをためて使える

当日の様子



まとめ

4ヶ月ぶりの市民ミーティングは、地域ごとに分けていたグループをシャッフルし、新しいグループで始めました。4回までの意見をまとめていく上で気付いた事は、まちづくりへの関心の高さと、まちの特徴から導き出された庁舎への意見がやはり「市民が使いやすい」という目線で提案されていることです。そこから「市民活動の活発な庁舎」というのがこの新庁舎のキーワードとなるのではないかと考え、広場に面した分かりやすい場所に市民活動スペースを設けることになりました。

この回では市民活動センターの役割をベースに、新庁舎にどんな機能があればいいか、どう使いたいのか、といったソフトとハード両面を考えました。庁舎に立ち寄りきっかけとしての市民活動センター及びスペース、そして多様な使い方のできる広場が期待されている事が分かりました。

● 第5回市民ミーティング「新庁舎での市民協働を考える」まとめ ●

4回目までに出た意見を反映した配置図と、現状の市民活動センターの機能や役割をふまえ新庁舎をどう活用したいかを話し合う回となりました。

- ハード / 建物・配置・設備
- ソフト / 活用方法・企画

◎設備
 床は転倒しても軽くすむよう、なるべくやわらかい素材を正面の壁に七宝焼の破片などを埋め込む
 正面玄関に七宝焼のモニュメントを設置
 くつろげる、退屈しないよう大きめのテレビを設置する
 太陽光パネル
 いろんな場所に時計を置いて時間を確認出来るようにしたらいい
 非常時に必要
 災害時の避難場所を設置(埋め込み型のトイレ設置)
 ベンチ→コンロ、マンホール→便器
 外に飲める水と手洗い用の水が出るもの

◎窓口
 窓口のまわりに子どもを安心して遊ばせられるスペース
 幼児が遊べるキッズスペース(親を待っている間)
 各窓口の前に簡易机等が必要と思う
 シャッターは暗いイメージがあるから、明るめにして市民がイラストを描く

◎多目的室/会議室
 多目的ルームをたくさんつくっておく
 防音のものを2~3個
 大会議場で卓球台をおけるようにする
 2階は勉強出来る場所や図書館などがあれば静かでいいと思った
 静かにする場所がほしい
 土日の会議室を体育館みたいに使えるようにする

◎市民活動センター
 市民活動センターは1階のメインの場所に
 あま市コンシェルジュ 企画をまとめる企画課

◎カフェ
 中高生がアルバイトできるような駄菓子屋さん→人がくる!?
 カフェは地域の人に人気の地域のカフェの店員さん達がメニューを作ったり運営する
 カフェやフードコートのお皿があまえん坊になっている
 中高生のボランティア
 ボランティアした中高生は無料ランチ
 ドトールやスタバがいいな
 100円カフェをつくる
 カフェで友達とゆっくり話したり、おいしいものを食べたい

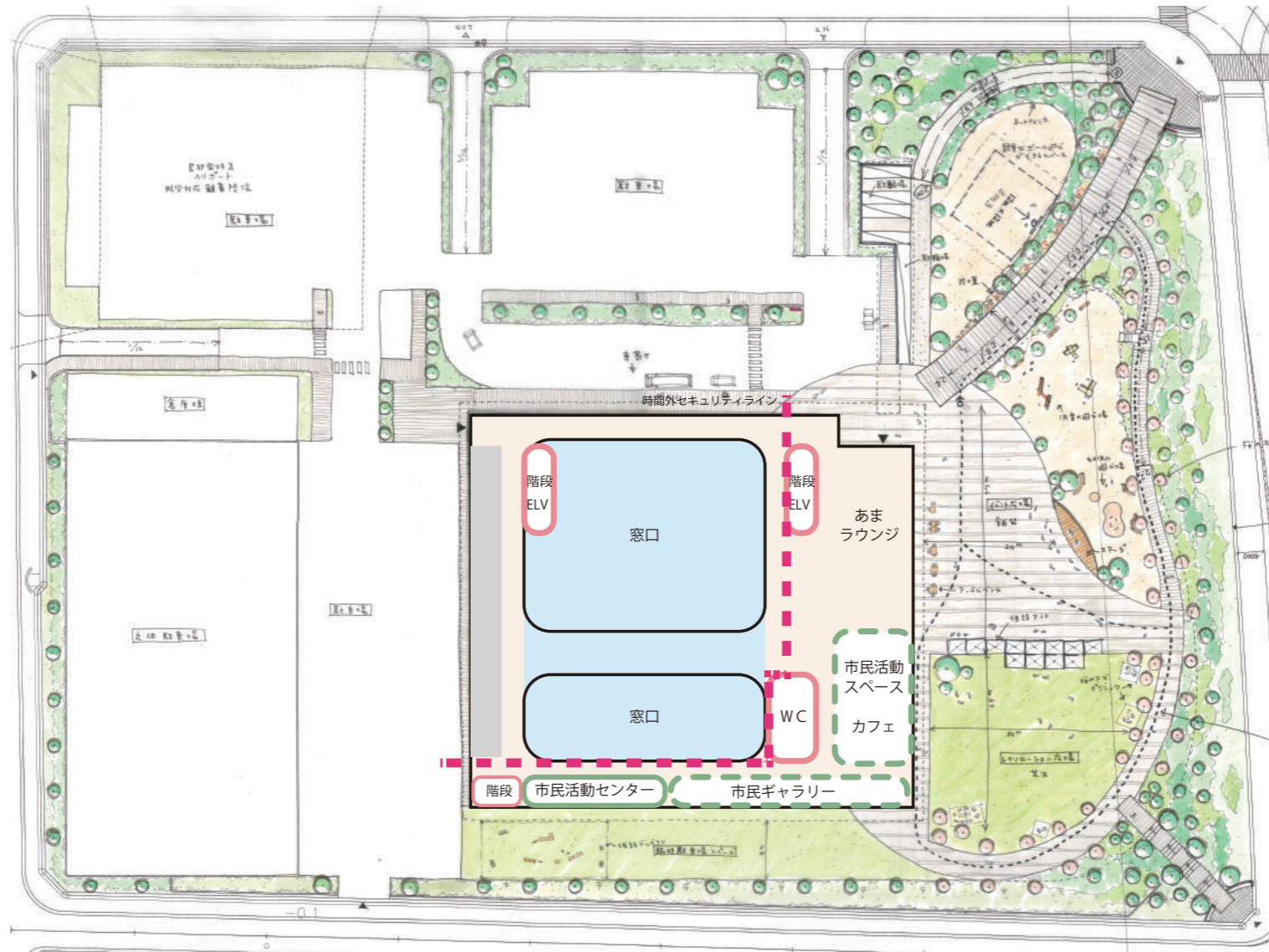
◎市民活動スペース
 フリースペースを完全フリーに使用出来るものとしたい
 全部を区切らなくてもよい(可動式とか)
 人の出入りが増えるスペース(企画課、ピアガーデン、遊び場など)
 市内で行われるイベント等が一目で分かる掲示板を設置する
 勉強する人を増やすために「資格案内」とか貼る!!
 図書館はすぐに席がうまってしまう
 コンピュータが使える図書室
 調べものができるパソコン室的な所
 静かに勉強出来るスペース
 テスト週間に自習スペースとして利用
 図書室(コンピュータ有り)や、自習室がほしい
 活動スペースの横に事務所がほしい
 3~4人とか1人になるスペース(人に邪魔されない)
 自習室

◎駐車場
 駐車場から庁舎までに屋根をついたら雨の日でもぬれないと思う
 駐車場をあま市に見立てて、駐車場に名前をつける。
 それぞれの地域の特産物の絵で分かりやすくする
 雨水の利用(地下)補助金

◎立体駐車場
 高齢者の落下事故が起きないように
 安全対策
 ◎駐輪場
 駐輪場を2つくらい欲しい

◎外壁
 壁面を使って名画上映(ドライブインシアター)
 冬に市役所の壁にプロジェクションマッピングをする

■庁舎について ■広場について ■その他



勉強を教えてくれる庁舎(教育大学のお兄さんお姉さんに教えてほしい)
 保育園や小、中学校の作品展や発表
 飲み物の安いのを自販機でおいての勉強スペース
 夜遅く、土日(22時くらいまで)開放して、学校帰りに安全に自習出来るスペースを
 館内案内をあまえん坊がする
 土日などの休日にあまえん坊グッズを作る会みたいなのを開催
 庁舎の中で謎解きを設置する→中に人が入るきっかけをつくる

◎屋上
 セットバックして空いた部分の2階屋上はどうする?
 天体観測 バーベキューがしたい!

◎植栽
 ビオトープ(ホタルの里)、ユリ園
 緑の日陰がほしい(藤棚)
 季節の花を植える
 通学路花壇
 見栄えをよくするために花を植えたい
 周囲の樹木は桜は良くない、落葉樹対策、剪定対策、冬場がさみしい
 芝生、植木、メンテは大丈夫?
 落ち葉掃除のボランティアをしたら、カフェで半額、割引券とか、ポイントためて使える
 青空の下で授業→市民の人が先生になる(和食のお店の人が教えてくれる、テニス、合気道を教える人→そのスポーツのこと)

◎全体
 メンテナンス費用、今後の整備性がよいコストに優れている庁舎
 庁舎の維持管理費を安価にすることをもっと徹底して考えてほしい
 中高生が来なくなる庁舎とは、これがテーマだ!!

◎舗装
 コルクの舗装の場合屋根がある
 床はゴム製にしてボール遊びが出来るようにする(小さい子が転んでも安全)
 地域全域で花火禁止→期間限定でも花火をやらせてほしい
 舗装の場所、手持ち花火、バケツ、水+管理者

◎出入り口
 出入り口が限定されている。色んな所から入れるように
 たくさんの方が来やすくなる

◎3on3コート
 バasketボール
 大会を開いたらおもしろそう

◎マルシェエリア
 七宝みそ、しょうゆを売る
 フリーマーケットを行う
 月1で朝市!!人が集まる

◎スロープ
 スケボーをやったら危ない

◎児童の遊び場
 敷地内に滑り下りれるスペースがあれば遊べる。ボール転がしたりなど
 固定遊具の設置は極力少なく、移動性のあるものにして有効活用

◎イベント広場
 スロープやイベント広場の地面をゴムチップにする
 子どもの安全
 人工芝がほしい
 ドッグランエリア以外に人工芝
 公園清掃管理

◎ドッグラン
 ペットはつれていけるスペースがあるとうれしい

◎広場周辺
 平らな面を多くして、有効スペースを広くしてほしい
 桜のライトアップ
 使い方を限定しない空間にした方がよい
 外にもトイレや水道がほしい
 イルミネーション(美和みたいな)
 読み聞かせ
 マラソンコースであま市の特産物を使ったお菓子のスイーツマラソン
 季節によって色々なイベントが欲しい。花見やBBQなど
 市民がかいたタイルを貼る
 外でクロスカントリー
 子どもの遊び場は必須!!



「あますごろくで庁舎を考える」

最終報告会

日時 | 2017年 10月 1日(日) 14:00 ~ 16:00
参加人数 | 中学生 20名(中学生 14名・高校生 6名) 大人 9名
*中学生大人合同でミーティングを行いました。

5回までの市民ミーティングで出た提案を「新庁舎に必要な10のテーマ」としてまとめ、その中から新庁舎にとって特に重要だと思うものを選び、後半では模型やCGをみて、気付いた事や新たな提案を話し合っていきます。

どのようなプロセスを経て来たのかを振り返り、どう反映されたのかを知るまとめの回となります。

ミーティング内容

14:00 あいさつ・本日のスケジュール

14:10 進捗報告

14:40 休憩

14:50 ①新庁舎に必要な10のテーマについて考える

②模型を見て確認

15:20 感想

15:40 まとめ

16:00 終了

● 模型やCG(外観、インテリア、市民利用スペースの内観イメージ)で設計の進捗状況をおさらいする。



● 「新庁舎に必要な10のテーマ」を見ながら、特に重要だと思うテーマを選び、理由を話し合う。



● 模型やCGを見て、気付いた事や新たな提案を話し合う。

● 全6回のミーティングの感想を発表してもらう。

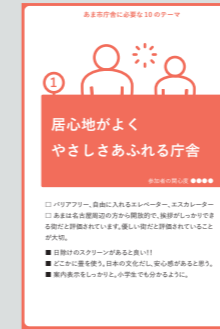
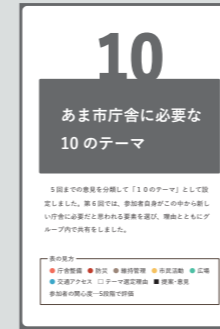


当日の様子



ミーティング結果

①新庁舎に必要な10のテーマについて考える



これまでの意見から生まれた「新庁舎に必要な10のテーマ」を見てふりかえり、その中で関心のあるものをグループ内で発表しました。(結果は23~26ページ参照)

②模型やCGを見て、意見・提案を考える

■ 庁舎...

「お客さんがたらい回しにされない」というのは大事だと思う。カウンターを課ごとに色分けするなど。

■ 広場...

プロムナードに七宝焼の作品、手形とか(基目寺中学校の東門)。芝生は雨で水がたまって使いづらい...

■ 交通アクセス...

自転車で来る人も多いと思うので、自転車でのアクセスをもっとしやすく。自転車による来庁者の方向、人数想定により駐輪場の場所や台数を整備すること。



まとめ

模型とCGをみたことによって、今まで出した意見が反映されている事が分かり、完成が楽しみだという声が多く聞かれました。地域の幅広い年齢の方と実際に話すことで学ぶ事がたくさんあった、中学生のふわふわした意見と大人の現実的な意見の対比がすごく面白かった、若い方の意見や考え方を直接聞きたい、将来を担う人と同じ立場で考えていきたい等の感想がありました。

また、最初は庁舎は書類などをもらう所という堅苦しいイメージだったのが、参加していくにつれ『つどいの場』というイメージが変わった、という感想もありました。まちの事から庁舎を考えたことによって、今までとは違う切り口の提案が出て来たのだと感じました。



10

あま市庁舎に必要な10のテーマ

5回までの意見を分類して「10のテーマ」として設定しました。第6回では、参加者自身がこの中から新しい庁舎に必要だと思われる要素を選び、理由とともにグループ内で共有をしました。

表の見方

- 庁舎整備 ● 防災 ● 維持管理 ● 市民活動 ● 広場
- 交通アクセス □ テーマ選定理由 ■ 提案・意見

参加者の関心度…5段階で評価

あま市庁舎に必要な10のテーマ

居心地がよく やさしさあふれる庁舎

参加者の関心度 ●●●●

- バリアフリー、自由に入れるエレベーター、エスカレーター
- あまは名古屋周辺の方から開放的で、挨拶がしっかりできる街だと評価されています。優しい街だと評価されていることが大切。
- 日除けのスクリーンがあると良い!!
- どこかに畳を使う。日本の文化だし、安心感があると思う。
- 案内表示をしっかりと。小学生でも分かるように。

あま市庁舎に必要な10のテーマ

気軽に 行ってみたいくなる庁舎

参加者の関心度 ●●●●

- 自分から進んで行く仕掛け、しゅきみがある。
- 人の出入りがあった方がよい。発展がある。
- 広場が豪華。日常が寂しい気がする。イベントができる場所があるのは良い。
- 市庁舎は近づきにくいイメージがあるので、新しくするなら集まりやすくするのがよいと思う。
- 執務スペースに入られても困るけど、執務スペースとあまらウンジなどの壁を無くす。カウンターの色を白にするとか…?
- カウンターの色を課ごとに分けると分かりやすいのでは?
- お客さんがたらい回しにされない、というのは大事だと思う。

あま市庁舎に必要な10のテーマ

災害に強く みんなを守る庁舎

参加者の関心度 ●●●●

- 市民を災害だけでなく、日常でも様々なことで守る。職員がもっと勉強する!!
- 液状化を考慮した建築。周りも補強した方がよい。
- 高齢者、車椅子、障がい者が歩きやすくしてほしい。舗装を考慮してほしい。この地区は特に危ないとかよく聞くから。安心感。
- 災害はいつ起こるか分からないのできちんと対策してあると安心だから。
- 防災センターとしての拠点となるように!現状として何の対策もない。

あま市庁舎に必要な10のテーマ

ずっと大切に 使い続けられる 維持管理のしやすい庁舎

参加者の関心度 ●●●

- どんなに素晴らしい庁舎が出来ても市民の負担になったら、市民にとっても良いものではない。みんなに使われることで初めて市役所になると思うから。
- 5階の機械室スペースは別の低層に移す事。
- 三階のミーティングルームは無駄ではないか。
- 職員専用の裏階段。



5 人をつなぐ まちをつなぐ 情報発信拠点

参加者の関心度 ●●●●

- 情報発信拠点。
- 企業は今、人に対してのセミナーにお金をかけています。人材交流、まちの小文化をつなぐことは大切。
- プロムナードに七宝焼の作品、手形とか。(基目寺中の東門)



6 市民が主役！ 協働をすすめる 市民活動の場

参加者の関心度 ●●●●

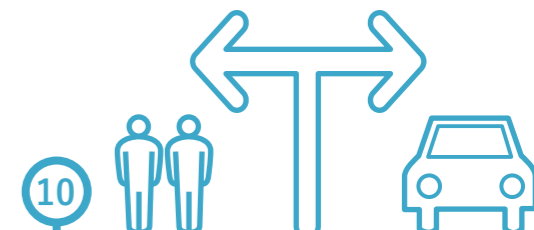
- ダンスなどの練習ができるような大きな鏡がある部屋があると思う。
- 学園祭の練習、音を出して練習。
- 新庁舎で成人式。
- 開放スペースにしたらい。



9 子どもからお年寄りまで みんなが集い 遊べる広場

参加者の関心度 ●●●●●

- 広場があることで回転が出来る。発展がある。
- あま市に足りないのは、みんなが集える場所だと思うから。
- ポールとか公園でできない遊びを広場でできると安全に遊べる。足を運びやすい。
- 今までの庁舎のイメージがかたくて使いづらそうだったから、それを変えていくものいいなと思った。色んな人が来やすい庁舎になれば、まちがひとつになることにもつながりそう。



10 人も車もみんながうれしい 安全・スムーズな 交通アクセス

参加者の関心度 ●●●●

- 駐車場の空車が満車かの判断ができるものがほしい。
- 駐車場の入り口、出口が分かりにくい。
- 巡回バスがあった方がいい。
- 道路の整備。
- 自転車で来る人も多いと思うので、自転車でのアクセスをもっとしやすく。
- 立体駐車場はどうかと思う。七宝北中のスペースを有効利用する。
- 自転車による来庁者の方向、人数想定により駐輪場の場所、台数を整備すること。



7 使いやすく にぎわいあふれる広場

参加者の関心度 ●●●●

- 学校の帰りに寄れたり、勉強ができる方がよい。夜間も考えてほしい。
- 一番使うのは職員。よく使う人が使いやすく、みんな(市民)が集まるような広場。
- スポーツ設備は不要。設置維持にコストがかかるため。
- 芝生は雨がふったら長い間水がたまって使いづらい…?
- スロープはゆるやかに。



8 四季を感じられる 緑ゆたかな広場

参加者の関心度 ●●●●●

- この件に関しては住民が力を合わせてすることができる。コミュニティの力をここに集結することが望ましい。
- 四季を感じられることで少なくとも年4回は足を運ぶことができるから。

この10のテーマは、全6回の市民ミーティングで時間をかけて出してきた、市民の求める新しい庁舎像を表したものです。どれも大事なテーマですが、なかでも3つのテーマに多くの関心が寄せられました。

- 「気軽に行ってみたくなる庁舎」
- 「災害に強く、みんなを守る庁舎」
- 「子どもからお年寄りまで、みんなが集い、遊べる広場」

ここから、従来のイメージを変える庁舎を期待しているということが分かります。

10のテーマを通じて、この市民ミーティングで考えてきた「市民が庁舎をどう利用したいか」が、参加者の関心度に表れていると言えます。



全6回の市民ミーティング参加者による 最終回アンケート結果

アンケート回答 | 中高生 20名 (中学生 14名・高校生 6名) 大人 9名 / 合計 29名

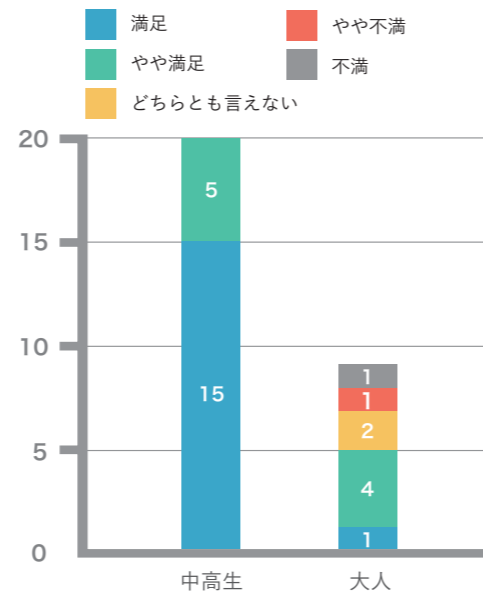
記述はアンケートより抜粋しました。伝わりにくい点についてのみ加筆修正しております。

○…中高生 ●…大人

●今回の市民ミーティングの満足度はいかがでしたか？

- あま市の人との交流、そして自分達が建築に携わることができるという、とても大きな事を経験できて良かった。
- 学校に居てはできないような貴重な体験ができてとても楽しかった。
- 地域の幅広い年齢の方と実際に話す事ができて、学ぶ事がたくさんあった。
- 模型などを通して、6回のミーティングが反映されているのが分かり、嬉しかったです。
- 中高生のふわふわした意見、大人の方達のしっかりと現実を見ている意見、色々な意見を聞けて、すごく面白かったから。市の事を考える機会をくれて、ありがとうございました！
- まちづくりに参加できたことはいい経験になったなと思った。

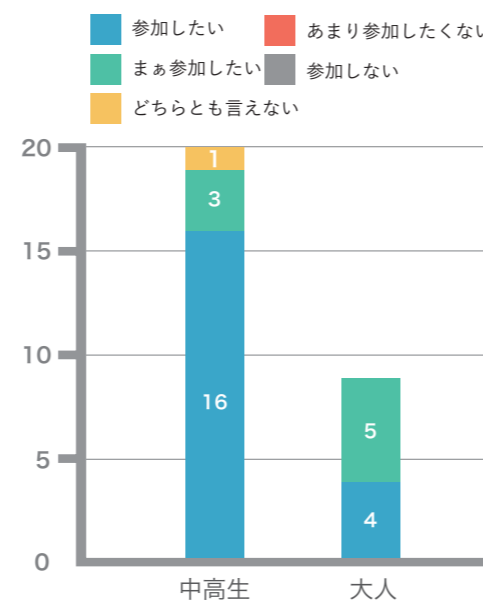
- 中高生等の若い意見を聞いて、考え方を新たにしました。
- いろいろな意見が活発に出てよかったと思います。若い人達の意見も聞いて良かった。
- 建設予定地を案内してほしかった。
- (全ミーティングに参加できなかった)あまり満足感がない。
- 技術的提案が採用されることなく、利用者の要望ばかりが検討、採用された。経済性についても同時に検討すべきである。



●今後このような市民ミーティングがあれば参加したいと思いますか？

- こういう場に参加するのは初めてだったが、自分の意見や、地域の方々の意見が使われていたりして、みんなでまちづくりの感覚が楽しかった。
- 先を見越すこと、ケースを考えることは、どんなことにも大切で、大人になったときのために必要な能力だと思うから。
- 参加する前より、あま市の良い所をたくさん知ることができたので良かったです。また同じ市に住んでいても、今まで関わったことがないような人と意見を出し合えてよかったです。色々な人と関われるのも大切だと思ったから。
- 庁舎を作るにも色々なことを考えなければいけないことが分かったので、その他のことも色々な視点から見られるようになると思うから。

- 若い方の意見、考え方を直接聞きたい。将来を担う方達と同じ立場で考えていきたい。
- もっと事前の勉強がベースにあり、具体的に意見が言えるなら、参加したい。
- 今回のような事例であれば、市民にアンケートのような形式で事前に求めてからの方が良かった。
- 庁舎の実施設計に関してミーティングがあれば参加したい。
- (ミーティングの内容に)ちょっと消化不良な点があります。



●今回の市民ミーティングで言い残したことや、その他気付いた点がありますか？

- 広場を利用したイベントをやってほしい
- 人が来ないと意味がないので、みんなが行きたくなくなる庁舎になるといいな。
- 今現在使っている庁舎を壊してしまうくらいなら、それこそ学校活動の場にしたらいいのかなど。あくまでも、壊したり使わなくなったりするくらいなら…という考えの元ですが。

- 始めはマイナーな意見が強かったが、だんだん盛り上がりよかったですと思います。3D的に把握でき、新しい庁舎が体感でき、大変良かったと思います。
- 空想話で終わることなく、実現に向けて頑張ってください。
- 今後の活動に期待したい。
- あま市のウェブサイトでの情報開示をしていただきたい。
- 敷地内だけでなく、周辺道路整備についてももっと説明を受けたかった。

おわりに

2016年の12月から約10か月をかけて計6回の市民ミーティングを行いました。

まちの特徴を出すこと、まちの特徴を詰め込んだすごろくをつくること、庁舎の様々な使い方から必要な機能を考えること。1回2時間のミーティングで、本当に様々な提案や議論を行いました。内容について厳しい意見をいくつもいただきました。しかし、それと同じくらい楽しかった、面白かったという感想もいただきました。

私達は、従来の設計ワークショップのような「建設費はいくら」「部屋の数」というような事柄について話し合うのではなく、様々な年代、様々な立場の人が等しく利用できる場所にするための話し合いをするべきだと考えています。

人の住む家は風土や環境によって形も備わっている機能も異なります。住む人が求めていること、周辺環境など、建物に必要な機能のことから考え始めます。たくさんの人を招き入れたい家ならリビングを大きくしましょう、家族のプライベートをしっかり守れる家だったら、個室をたくさん作りましょうなど、どう暮らしたいかを明確にすることで方向性が決まります。

今回の市民ミーティングで参加者のみなさんが6回にわたって話し合ってきたことというのは、家づくりにおける「どう暮らしたいか」ということだと思っています。

庁舎建設は非常に規模の大きい話です。だからこそ最初に「どう暮らしたいか = どう使いたいか」を今回の市民ミーティングで明確にできたことは大きな成果であると言えます。ゆくゆくは庁舎という場所が、「楽しい、面白い、可能性のある場所」というようにイメージが変わればいいなと思います。

参加者から「まちづくりや設計に興味を持った」などの声も聞かれ、この市民ミーティングによって様々な可能性の種まきができたのかもしれませんが。

最後に参加者の中学生からいただいたメッセージをご紹介します。

6回本当にありがとうございました。

初めて市民ミーティングに参加した時は、庁舎は書類などをもらう所と、堅苦しいイメージでしたが、6回も参加していくうちに、庁舎は「つどいの場」というイメージに変わりました。

私が今通っている中学では、意見は多数派の意見しか扱ってもらえず、残念な思いをしていましたが、ここでは少数の意見まで耳をかたむけてくれる人がたくさんいて、とても嬉しく思いました。職員のみなさんはとても明るく、優しい人が多くて話しやすかったです。庁舎ができて、市民の意見を受け入れてくれるのは大切だと思いました。

市民の多くは、庁舎に暗く堅苦しいイメージを持っていることが多いと思いますが、新しく庁舎ができた時に、明るいイメージになったらいいなと思いました。

完成したら、私の友達に自慢したいです。本当にありがとうございました。

この新しい庁舎が、あま市のみなさんの素晴らしい「つどいの場」になりますように。

ミーティングを終えて アトリエカフェ

ミーティング参加者 / 七宝中学校 七宝北中学校 美和中学校 甚目寺中学校 甚目寺南中学校

五条高校 美和高校 あま市のみなさん

ミーティングコーディネーター / アトリエカフェ

基本設計 / 株式会社佐藤総合計画(建築設計) 株式会社空間創研(ランドスケープデザイン)

ブックデザイン・編集 / アトリエカフェ

主催 / あま市